
夏空

有岡 凜

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夏空

【コード】

N9060T

【作者名】

有岡 凜

【あらすじ】

サッカーに青春を賭けるサッカー部員と、ワケありの人気者の青春を描く。

本田

とある中学校の校庭。30人ほどの男子生徒がサッカーのユニフォームを着て汗を流している。それを横から見守っている制服姿の大人しそうな少年。それが内田春だった。サッカー部の部員たちは休むことなくグラウンドを走り続ける。夏の太陽がじりじりと照りつける。それでも部員たちは辛そうな顔一つせずに声を出す。

サッカー部 「伊野波ー！ファイトー！」

私立伊野波高校サッカー部。東京都内の大会では毎回なかなかの成績の、サッカーをしたいたがために入学する生徒も少なくないサッカーの名門校である。内田春は高校2年生。見た目は大人しいが、クラスでは明るく、人気もある。そんな内田がこうしてサッカー部の練習を見ているのには理由があった。先頭で走っていた比較的背の低い少年が春に気づき、声を掛ける。

少年 「内田ー！何見てんだよー！」

きらきらした笑顔でこちらに向かってくる。

春 「見ちゃ悪いのかよ」

春も笑顔で返す。

春 「相変わらずモテてんな、本田」

横を親指で指差す。数人の女子生徒が本田1年の時内田と同じクラスだった、本田圭。大会ではいつも必ずスタメンに入っており、

明るい性格で男女両方から人気があるーを見てきゃあきゃあ、と騒いでいる。

女子生徒A 「ね、いいかなあ？」

女子生徒B 「本田と話してんの誰だろ？…内田？」

女子生徒A 「え、内田って本田と仲いいの！？」

女子生徒C 「あかし1年の時二人とも同じクラスだったよ」

女子生徒A 「え、マジで?!何組？」

女子生徒たちは小さい声で話しているつもりなのだろうが、春にも、そして本田にも彼女たちの会話は丸聞こえだった。

女子生徒A 「理恵、なんか本田こっち見てない？」

女子生徒B 「今ならいけそうじゃない？」

女子生徒A 「あー緊張する！」

女子生徒C 「行つて来いっ！」

女子生徒AがCに背中を押され、春と本田の前に飛び出る。後ろを向き、二人の友達に向かって何かを伝えようとする。だがそれは伝わらなかつたようで、女子生徒Aはあきらめて本田の方に向き直つた。顔を見るのは恥ずかしいのか、右肩の辺りを見ながら顔を赤くしてやつとのこと言葉で吐き出す。

女子生徒A 「あ…あのさ本田…っ…」

春はああ、またか、という気分でその様子を見ていた。いつものことだ。本田はいつも優しく女の子を振っていく。たとえばつきり言われなくても、自分に気がありそうだと思った時点で諦めさせる。

本田 「佐々木！応援？ありがとうな。」

女子生徒A（佐々木） 「え…あ、う、うん…頑張つてね…ね、
本田…」

本田 「なあ、武井がさあ、佐々木のこと好きらしいよ。」

本田は笑顔で言う。

女子生徒A 「…え？」

本田 「お似合いだと思うけどな。武井、意外とモテるんだぜ」
女子生徒A 「わ…私は…本田のことがっ…」

本田 「…俺、練習戻るわ。じゃあな、佐々木、内田！」

女子生徒Aがその場でしゃがみ込む。二人の友達がそばに駆け寄る。

女子生徒A（佐々木） 「うっ…ひっ…く…」

女子生徒C 「奈々」

女子生徒B 「まだ大丈夫だよ、告白もしてないじゃん」

女子生徒C 「ちよつと内田、本田呼んで来てくんない？」

春は顔を見たことがあるかな、という程度の女子生徒にいきなり話しかけられ、びくつとした。そしていつもの作り笑いで言った。

春 「自分で行けよー」

女子生徒C 「あたし本田と知り合いじゃないもん」

春 「今練習中だし」

女子生徒A 「いいよ、めぐ…私…もうどうせダメだよっ…ごめんね、内田…」

春 「いいって。」

本田が走りながらちら、とこちらを振り返った。そして手を合わせて軽く頭を下げて口を動かした。

本田 「ご、め、ん」

いって、と返す代わりにまたあの笑顔を作って手を振った。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9060t/>

夏空

2011年10月9日04時10分発行